



令和4年

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■塗りつぶしの日が休館です。



『裏家電』

嶋戸悠祐/講談社/F シマ

実家の電器店を大きくしたい！ 実力を付けたくて全国チェーンの家電量販店に入社した萌絵は、役職者でありながら、売り場で立っているだけの係長・水上と出会い…。元家電量販店社員が実話をもとに描いたお仕事ミステリー。タイトルの裏家電とは…読み終わるとその意味が解ります。



『第1感』

マルコム・グラッドウェル/光文社/145.1 クラ 文庫

まばたきする程度の一瞬に、人間はあらゆることを判断している。直感的な判断はどのようになされているのか。ある種の人々がそういった判断力に優れているのはなぜか。多くの実験や取材から、「ひらめき」の力の謎に迫る。



『神になった武士』

高野信治/吉川弘文館/172 幼

平将門、菅原道真、徳川家康…。彼らはなぜ、死後、あるいは生きていうちから<神>として祀られたのか。祭祀・神格化の過程を読み解き、地域守護、治病利益、国家の忠臣など、さまざまな役割を担った<神>の全体像に迫る。

『古代遺跡大図鑑』

森谷公俊(監修)/ニュートンプレス/202.5 モリ

遺跡とは、人類の歴史の痕跡。ピラミッド、ストーンヘンジ、兵馬俑…。一つの国や文化が、あとに生まれる国や近隣諸国とどう影響しあったかを紹介しながら、地域ごとに遺跡を紹介する。美しいビジュアル満載の古代遺跡図鑑。

『江戸藩邸へようこそ』

久住祐一郎/雑社インターナショナル/215.5 クス

江戸藩邸とは、どのような空間だったのか？ 三河吉田藩に残る「江戸日記」等の古文書から、江戸藩邸の役割や仕組み、藩邸内で起きた事件、女性たちが暮らす「奥向」などを読み解き、武士たちのリアルを描き出す。

『外国人労働相談最前線』

今野晴貴/岩波書店/366.8 コン

働く留学生から技能実習生、高度人材まで、かれらが苦しんでいる要因とは何か。「多文化共生社会」を築くための素地は本当に広がっているのか。コロナ禍で急増した労働相談の現場から解決への道筋を探る。

『こんなに変わった理科教科書』

左巻健男/筑摩書房/375.4 サマ

祖父母の、両親の、子どもの、孫の理科は、ぜんぶ違う！生活密着から科学立国へ、さらに詰め込み教育からゆとり教育へ…。戦後の理科教科書の内容がどう変わってきたかを、小・中学校をメインに解説する。

『いきもの六法』

中島慶二(監修)/山と溪谷社/480.9 ナカ

その生き物、採っても大丈夫？ ペット関連を除く、自然の生き物たちに関する法律を、生物・環境ごとに章分けした上で、法規制が「種・場所・種と場所・その他」のどれに對してかかっているかで分類し、わかりやすく紹介する。

『水草QA100』

轟元気/エムピージェー/627.8 ト

実践的な水草の育成とレイアウト制作に定評のある著者が、水草の基礎知識から育成、藻類とその対策、水草レイアウトまで、水草にまつわる質問に答える。『アクアライフブログ』連載を加筆修正。

『日本の仏像』

薬師寺君子/西東社/718 ヤク

釈迦如来、弥勒菩薩、不動明王、毘沙門天…。日本の仏像を、280点超の迫力ある写真や図版とともに紹介。国宝・重要文化財も多数掲載し、仏像の歴史や仏教の世界観なども解説する。

『起源がわかる宝石大全』

諏訪恭一/ナツメ社/755.3 スワ

人類と宝石の出合い、その多様性、鉱物データまで約200種の宝石を、豊富な写真と詳細な解説で紹介する。2022年2月～6月開催の国立科学博物館「特別展 宝石」で展示される宝石・鉱物を多数収録。

『白川静』

松岡正剛/平凡社/821.2 マツ

古代文字の解説から、かつて漢字を共有していた東アジア文化圏の精神風土を明らかにした中国文学者・白川静。博覧強記の著者が彼の広大な学問世界、思想、人生に分け入る入門書。新たに五木寛之との対談を収録した文庫版。

『韓国語楽習法』

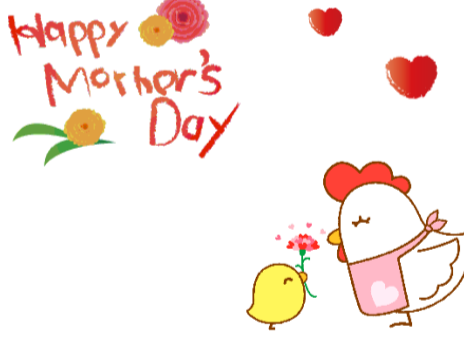
黒田勝弘/KADOKAWA/829.1 カ

日本語と一緒に語順、ローマ字と似た仕組みの文字、多くの漢字由来の言葉…。韓国語は日本人にとって非常に学びやすい外国語。1970年代に韓国に渡りハンゲルを限りなく楽しんできたベテラン記者が、習得の極意を紹介する。

『忍者とは何か』

吉丸雄哉/KADOKAWA/910.2 ヨシ

忍者はいつから黒装束・黒覆面で、手裏剣を投げるようになったのか？ 忍者文学研究の第一人者が、小説や演劇、マンガなどメディアに描かれた「虚像」の変遷を史的に解き明かす。



『日本文学のなかへ』

ドナルド・キーン/文藝春秋/910.4 キン 文庫

漢字に惹かれて日本語を学び始めた著者が、戦後、京都に留学し、古典から現代文学までその真髄に触れていく。「日本文学史」執筆を畢生の事業とするまでの研鑽30年を語る。

『すべての季節のシェイクスピア』

松岡和子/筑摩書房/932.5 マツ 文庫

シェイクスピア劇が10倍深く楽しめる！ 2021年、シェイクスピア全集、個人全訳を完結した著者が、年間100本以上観続けてきたシェイクスピア劇の尽きせぬ魅力を綴る。著者インタビュー等も収録。

『エーリッヒ・ケストナー』

クラウス・コルドン/偕成社/940.2 コル 青少年

「飛ぶ教室」など、児童文学作家として知られるエーリッヒ・ケストナー。ユーモアと風刺で社会を鋭く批評した多彩な文筆活動と、激動の時代を生きた心の内を描き出し、その素顔に迫る伝記。1995年ドイツ児童文学賞受賞作。

『テュルリュパン』

レオ・ペルッツ/筑摩書房/943 ヘル 文庫

17世紀パリ、ルイ13世の宰相リシュリュー枢機卿は貴族勢力の掃蕩を決意し、陰謀をめぐらしていた。一方、運命がその企てを阻止するために選んだのは、町の床屋テュルリュパンで…。稀代の物語作家による伝奇歴史小説。

『生皮』

井上荒野/朝日新聞出版/F イ

小説講座の人気講師がセクハラで告発された。家族たちは事件をいかに受け止めるのか？ 被害者の傷は癒えることがあるのか？ ハラスメントが醸成される空気を重層的に活写する。『小説トリッパー』連載を単行本化。

『生者のポエトリー』

岩井圭也/集英社/F イ

トラウマを抱え言葉をうまく発することができない青年・悠平が、急きょ舞台上で詩を披露することになり…。「テレパスくそくらえ」をはじめ、「詩」が人を繋ぐ全6編を収録した連作短編集。『小説すばる』掲載を書籍化。

『女人入眼』

永井紗耶子/中央公論新社/F ナカ

京の六条殿に仕える女房・周子は、源頼朝と北条政子の娘・大姫を入内させるという命を受けて鎌倉へ。繊細な心を持つ大姫と、目的のためには手段を選ばない政子。周子が辿り着いた、母子の間に横たわる悲しき過去とは。

『奏弾室』

仁木英之/徳間書店/F ニキ 文庫

東京郊外に暮らす大学生・秋葉佑介は音楽の良し悪しがわからない。ある日、美しい女性・沙良と出会う。彼女は「奏弾室」という、個別レッスンの音楽教室をしていた。佑介は、そこで様々な手伝いをさせられることになるが…。

『スタッフロール』

深緑野分/文藝春秋/F ヲカ

戦後ハリウッドで奮闘した特殊造形師・マチルダ。現代ロンドンのCGクリエイター、ヴィヴィアン。CGの嵐が吹き荒れる中、映画に魅せられた2人の魂が時を越えて共鳴した！ 『別冊文藝春秋』連載を加筆して単行本化。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

◆◆ホームページアドレス◆◆ <https://www.library.otsu.shiga.jp>

行事予定は裏面へ

